

OCF 検定

SXF確認機能検定の概要

2011年1月

一般社団法人
オープン CAD フォーマット評議会

1. はじめに

「CAD製図基準(案)」によるCADデータの統一的な運用を図ることを目的とした「CAD製図基準に関する運用ガイドライン(案)」(平成21年6月)では、電子納品の際にCADデータを確認するソフトウェアについて、SXFブラウザ、または「SXF表示機能及び確認機能要件書(案)」(平成21年3月)に従って開発されたソフトウェアと規定されています。

本資料は、国土技術政策総合研究所が策定した、上記の「SXF 表示機能及び確認機能要件書(案)」(以下、機能要件書)に基づいて、OCFが市販ソフトウェアを対象に実施するSXF確認機能検定(以下、本検定)について定めたものです。

- CAD 製図基準(案) 平成 20 年 5 月
- CAD 製図基準に関する運用ガイドライン(案) 平成 21 年 6 月
http://www.cals-ed.go.jp/index_denshi.htm

- SXF 表示機能及び確認機能要件書(案) 平成 21 年 3 月
http://www.cals-ed.go.jp/index_dl.htm

本資料に記載のない事項は、すべて「OCF 検定の概要(2008年10月)」等で定める「SXF 対応ソフトウェア検定」に準拠します。

- OCF の実施する検定に関する資料類
<http://www.ocf.or.jp/kentei/kijun.shtml>

2. 検定の対象機能

本検定は、機能要件書にて規定される「表示機能」及び「図面確認機能」のうち、それぞれ次表に掲げる機能を対象に実施します。

2-1.表示機能

| 区分 | 機能名 |
|----------|------------|
| 図形表示機能 | 拡大表示機能 |
| | 縮小表示機能 |
| | 図面全体表示機能 |
| | 全図形表示機能 |
| | 表示レイヤ切替機能 |
| 図面情報表示機能 | ファイル情報表示機能 |
| | 表題欄情報表示機能 |
| | 属性表示機能 |
| 印刷機能 | 印刷 |
| | プレビュー |

2-2. 図面確認機能

<定型確認機能>

| No. | 機能名 |
|-----|--------------------|
| 1 | レイヤ名の確認機能 |
| 2 | 用紙外図形の確認機能 |
| 3 | 重複図形の確認機能 |
| 4 | ショートベクトルの確認機能 |
| 5 | 図面の大きさの確認機能 |
| 6 | 図面の正位確認機能 |
| 7 | 輪郭線の確認機能 |
| 8 | 余白の確認機能 |
| 9 | 色の確認機能 |
| 10 | 背景同色の確認機能 |
| 11 | 線種の確認機能 |
| 12 | 線幅の確認機能 |
| 13 | 文字の大きさの確認機能 |
| 14 | 文字コードの確認機能 |
| 15 | 文字配置の確認機能 |
| 16 | SXF ファイルのバージョン確認機能 |

<問題箇所表示機能>

| No. | 機能名 |
|-----|---------------------|
| 1 | 重複図形の利用箇所表示機能 |
| 2 | ショートベクトルの利用箇所表示機能 |
| 3 | “規定外色”の利用箇所表示機能 |
| 4 | 背景同色の利用箇所の表示機能 |
| 5 | “規定外線種”の利用箇所表示機能 |
| 6 | “規定外線幅”の利用箇所表示機能 |
| 7 | “規定外文字高”の利用箇所表示機能 |
| 8 | “規定外文字コード”の利用箇所表示機能 |
| 9 | “規定外文字配置”の利用箇所表示機能 |

なお、「2.1 表示機能」の多くは、SXF 対応ソフトウェア検定の対象と重複します。この点を考慮し、申請ソフトウェアが同検定の認証を取得している場合、重複する表示機能は本検定における確認が免除されます。

3. カテゴリーと資格要件

本検定の対象とするソフトウェアについて、2つのカテゴリーに区分し、その受検資格要件を次表の通り定めます。

| カテゴリー | 区分内容 | 資格要件 | | |
|-----------|----------------------------------|-------------------------------|--------------------------------------|-------------|
| | | 表示機能 | 定型確認機能 | 問題個所表示機能 |
| CAD/ビューア | SXF ブラウザ(*)と同程度以上の表示機能を備えるソフトウェア | 検定の対象機能の <u>すべて</u> を実装していること | | |
| 図面チェックツール | 上記以外のソフトウェア | 要件は定め ない | 検定の対象機能の <u>すべて</u> を実装してい ること | 要件は定め ない |

(*)国土交通省国土技術政策総合研究所より無償で提供されているソフトウェア。

http://www.cals-ed.go.jp/index_dl2.htm

4. 検定料

本検定の検定料を、以下の通り定めます。

15 万円

但し、表示確認機能の有無を考慮し、次のソフトウェアについては特例を設けます。

- ・「2-1.表示機能」を備えていないソフトウェア 5 万円
- ・SXF 対応ソフトウェア検定の認証を取得しているソフトウェア
(同ソフトウェアにアドオンして動作するソフトウェアを含む) 5 万円

その他、定期検診料等は、SXF 対応ソフトウェア検定と同様とします。

5. 申請と認証

申請と認証等については、次の通りです。

- 申請

申請書は、本検定のための専用様式を定めます。

〈申請内容〉

- ・ 申請者、ソフトウェア名称・バージョン等の情報
- ・ SXF 対応ソフトウェア検定の認証情報(認証を取得している場合)
- ・ SXF 表示及び確認機能の対応申告

検定試験日は、申請書が提出されてから事務局にて調整します。

- 認証番号等

認証番号、認証ロゴ、認定証は、本検定独自のものを定めます。



6. 有効期間

認証の有効期間と定期検診の定めは、「SXF 対応ソフトウェア検定」と同様とします。

ただし、SXF 対応ソフトウェア検定の認証を取得しているソフトウェアの場合、その認証の有効期間を超えることはできません。

7. 関連資料

実装に関する詳細事項は、「SXF 確認機能検定 実装規約(OCF 版)」に定めます。

- ・OCF の実施する検定に関する資料類

<http://www.ocf.or.jp/kentei/kijun.shtml>

8. 注意事項

本検定は、機能要件書に従ってソフトウェアに実装された各機能が正しい判定を行っているかを検査します。

しかし、そもそも機能要件書とは、電子納品のための図面データの確認においてソフトウェアが支援できる事項についてのみ記載されたものです。また本検定は、機能要件書の定める多くの機能のうちの一部だけを備えるソフトウェアも対象としています。

本検定に合格したソフトウェアによる判定が、そのまま納品図面としての正しさを担保するものではないことに留意が必要です。

9. 改訂履歴

| | |
|----------|--------------------------|
| 2009年11月 | 初版 |
| 2011年1月 | 受検資格要件の強化、「カテゴリーと資格要件」追加 |